

# (6) 都道府県目的別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

平成30年度

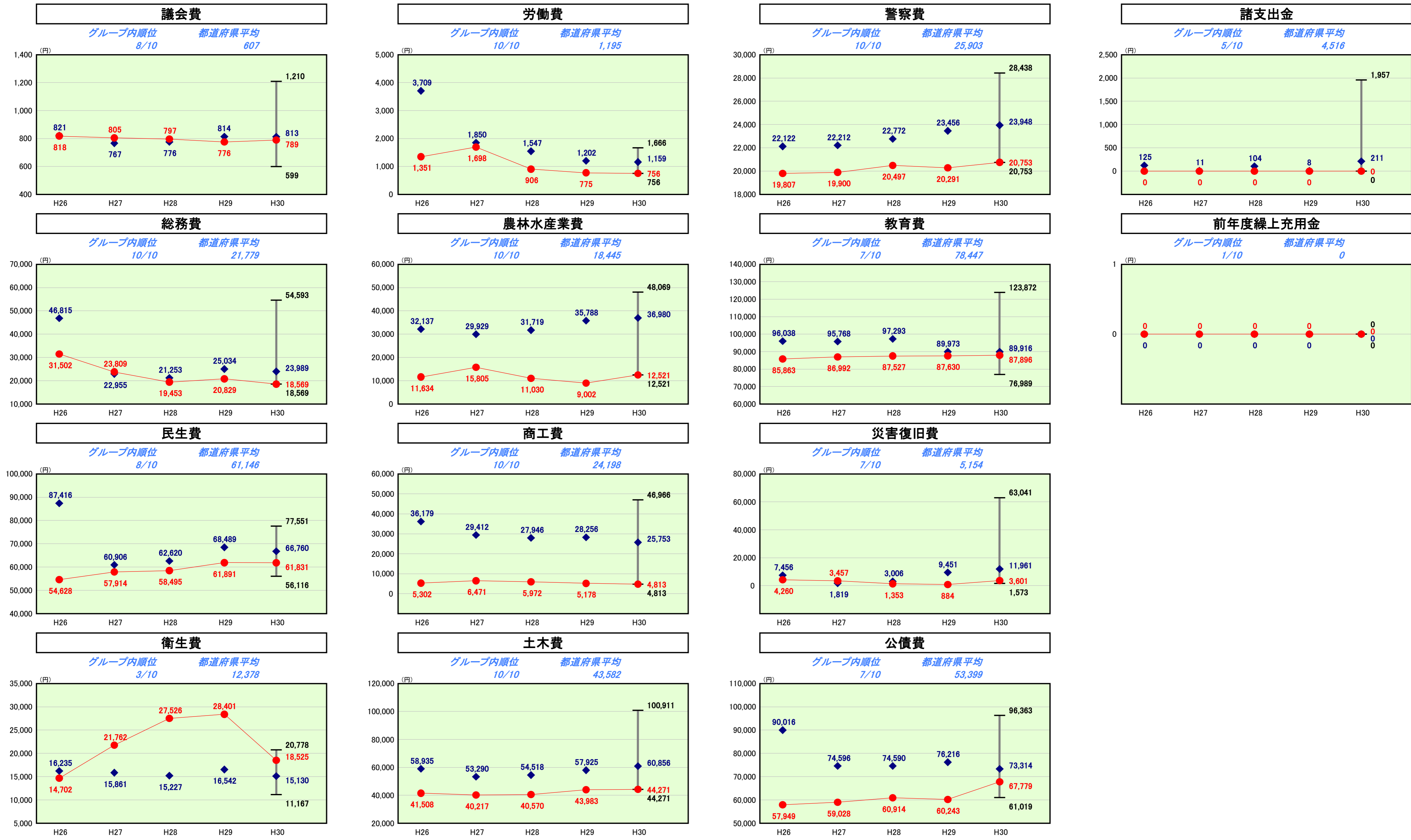
奈良県

人口	1,362,781人(H31.1.1現在)	実質赤字比率	-%
うち日本人	1,350,265人(H31.1.1現在)	連結実質赤字比率	-%
面積	3,690.94km <sup>2</sup>	実質公債費比率	9.7%
歳入総額	499,121,994千円	将来負担比率	152.7%
歳出総額	493,623,933千円	グループ	H26 C H27 C H28 C
実質収支	1,267,851千円	(年度毎)	H29 C H30 C
標準財政規模	322,165,901千円		
地方債現在高	1,088,718,525千円		

- 当該団体値
- ◆ グループ内平均値
- ┆ グループ内の最大値及び最小値

※ グループとは、道府県を財政力指数の高低によって5つに分類したものである。  
 [ Aグループ 1.000以上、Bグループ 0.500以上1.000未満、Cグループ 0.400以上0.500未満、Dグループ 0.300以上0.400未満、Eグループ 0.300未満 ]

※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。  
 ※ グループ内順位及び都道府県平均は、平成30年度決算の状況である。また同一グループの団体が存在しない場合グループ内順位を表示しない。



**目的別歳出の分析欄**

- ・衛生費は住民1人あたり19千円となっており、前年度より34.8%の減となっている。これは奈良県総合医療センター建替整備にかかる貸付の減等によるものである。
- ・農林水産業費は住民1人あたり13千円となっており、前年度より39.1%の増となっている。これは、国営農業用水再編対策事業の完了に伴う市町村等の負担金を繰上償還したこと等によるものである。
- ・災害復旧費は住民1人あたり4千円となっており、前年度より307.3%の増となっている。これは、過年度(平成29年度)に発生した災害にかかる工事費等が例年より多いことによるものである。
- ・公債費は住民1人あたり68千円となっており、前年度より12.5%の増となっている。これは、臨時財政対策債に係る元金償還額の増によるものである。